

真鶴町の幼(保)小中一貫教育 ～未来にはばだけ！半島まるごと学校～

かながわ教育ビジョン

- * 基本理念
未来を拓く・創る・生きる
人間力あふれる
かながわの人づくり
- * めざすべき人間力像
思いやる力
たくましく生きる力
社会とかかわる力



基本理念 「教育は人づくり、人づくりはまちづくり、まちの未来づくり
そして、そのすべての基盤は『互いの信頼』」

教育目標 「より良い人生を切り拓き、主体的に学び続ける真鶴っ子の育成」
～地域で育てる生きる意欲・学ぶ意欲・関わる意欲～

真鶴町教育基本大綱

- 主な基本方針
- * 共に学び共に育ち、生きる力を育む教育の推進
- * 子どもの育ちを支える教育環境の整備
- * 地域と連携した教育の推進
- * 青少年の健全育成の推進
- * 文化財の保護と活用の推進



●真鶴町がめざす子どもの姿

- ☆多様性を尊重できる子
- ☆関わる力をもった子
- ☆創り出す力をもった子
- ☆発信する力をもった子
- ☆心の豊かな子
- ☆ふるさとを大切にする子

基盤

●人間力の基礎となる3つの力

自分を高める力

- ・なりたい自分・理想を描く力(夢をもつ力)
- ・まずやってみる力(挑む・挑戦する力)

他者につながる力

- ・伝える力(自分の思いを発信する力)
- ・受け入れる力(相手を認める力)
- ・協働する力(他者と協力する力)

自分と向き合う力

- ・あきらめない力(粘り強さ)
- ・自分を調整する力(自己調整力)

留意点：非認知能力の中で高めたい力を子どもが意識できること(大人との価値の共有)

●幼(保)小中一貫教育のねらいと重点施策

確かな学力・体力の向上

- ・4-3-2制の導入準備
- ・相互乗り入れ授業の活性化
- ・教科担任制の拡充
- ・教職員の兼務辞令の発令
- ・教科センター方式の導入準備
- ・少人数を生かした学習の充実
- ・学習支援ソフトの有効活用
- ・デジタルドリルの導入
- ・学びのSTEAM化の推進
- ・水泳授業の民間委託
- ・岩海岸での水辺の安全教室

社会関係力の向上

- ・まなづる未来学の創設準備
- ・異学年交流の活性化
- ・縦割り活動の充実
- ・表現活動の充実
- ・インクルーシブ教育の推進
- ・半島留学システムの構築準備
- ・町内在住ゲストティーチャーの充実
- ・住民との協働活動の推進
- ・町立図書館及び公民館機能の有効活用

グローバル人材の育成

- ・体験型英語学習施設への派遣
- ・外国の学生等とのオンライン交流の推進(ICU等)
- ・AI機能を搭載した英会話アプリの試行的導入
- ・ALT・英語活動指導員の拡充
- ・英語検定試験の検定料補助等
- ・先端技術を体験できる物的・人的環境の整備
- ・近隣学校等広域交流の推進
- ・外国と提携したALTの検討

いじめ防止と不登校の解消

- ・教職員の相互乗り入れ授業・相談活動の活性化(再)
- ・異学年交流の活性化(再)
- ・縦割り活動の充実(再)
- ・表現活動の充実(再)
- ・子どもの主体的活動の推進
- ・学校からの戦略的広報の充実
- ・スクールカウンセラー等関係機関との連携強化
- ・教育相談機能(教育支援センター、訪問相談員等)の充実

真鶴を愛する豊かな心の醸成

- ・真鶴町学校運営協議会の拡充と地域との連携強化
- ・まなづる未来学創設準備(再)
- ・スクールコーディネーターの複数配置の検討
- ・町内在住ゲストティーチャーの充実(再)
- ・防災教育・拠点の機能の充実
- ・副読本のデジタル化
- ・中学校での完全給食の開始
- ・オーガニック給食の推進

施策推進にあたっての
主な留意点

- ・子どもの可能性を引き出し、最後まで信じること
- ・授業や諸活動で好奇心(興味・関心)をかき立てること
- ・教師が子どもを教えるという従来の考えを見直すこと
- ・教師も子どもと共に成長していることを実感できること
- ・自ら創造、選択(自己決定)、実践でき、責任ある機会を創り出すこと
- ・アウトプット(発表・活用・発揮)を重視した活動を行うこと
- ・子どもたち一人一人が主役になり、12年間での成長を実感できること
- ・対話と合意(納得解、最適解)に基づいた実践を継続すること

人間力の定義：社会を構成し運営するとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力(内閣府 2003年「人間力戦略研究会報告書」)

真鶴町の幼(保)小中一貫教育の定義：めざすべきところを一つにし、幼(保)小中が同じ方向を向いて指導していくこと。そして、互いのことを理解し合い、尊重し合い、支え合って子どもたちを育てていくこと